

多摩地域連携 外科専門研修プログラム



目次

1. 多摩地域連携外科専門研修プログラムについて	2
目的と使命	
特徴	
2. 研修プログラムの施設群	3
3. 専攻医の受入数について	4
4. 外科専門研修について	4
1) プログラムの概要	
2) 年次毎の専門研修計画	
3) 研修の週間計画および年間計画	8
4) 研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール	11
5. 専攻医の到達目標	12
6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	
7. 学問的姿勢について	13
8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて	13
9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方	14
10. 専門研修の評価について	18
11. 専門研修プログラム管理委員会について	
12. 専攻医の就業環境について	19
13. 修了判定について	
14. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	
15. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について	20
16. 専攻医の採用と修了	21
17. 専攻医の処遇	22
18. 専攻医体験談	23

問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院外科専門研修プログラム管理委員会

電話:042-639-1111 (内 2103) 田志口

メール: resi8@tokai.ac.jp

mukai.masaya@tokai.ac.jp

ホームページ:

http://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/saiyoujyohou/recruit/clinician_tr/kouki_bosyu/

見学、個別相談など随時受け付けています。

多摩地域連携外科専門研修プログラム

1. 多摩地域連携外科専門研修プログラムについて

目的と使命

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科, 心臓血管外科, 呼吸器外科, 小児外科, 乳腺, 内分泌外科)、またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

特徴

多摩地域連携外科専門研修プログラムの最大なる特徴は、地域密着型であり、厚生労働省ならびに日本医師会が目標に掲げている診療圏中心に連携している唯一のプログラムです。

基幹施設である東海大学医学部付属八王子病院はここ数年で急激に症例数の増加を認めています。また大学付属機関であり、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、さらに救命救急センターにおいてそれぞれに研修を受けることが可能です。加えてこのプログラムは、大学病院、地域の中核病院、一般市中病院を含む7施設の連携施設群がそれぞれの特徴を生かして一体となって運営しています。

このプログラムで研修することにより広い基礎的実地医療を学ぶと共に、一般市中病院あるいは開業医としての個人的医療施設へ進む事を希望される先生方にも将来安心して医業に専念できる知力、技量などを身につけることができます。もちろん大学付属施設で将来像としてのサブスペシャリティ専門医取得を目指したい医師にとっても各診療科がパートナーシップを組んでいるため専門医取得のための症例数獲得に連動したフレキシブルな研修プログラムです。比較的小さいプログラム故、先輩指導医が身近に親身になって指導してくれ、また種々の問題についても優しく相談に乗ってもらえるなど家族的な温かい雰囲気の中で楽しく学ぶことができると思います。

2. 研修プログラムの施設群

1) 東海大学医学部附属八王子病院と連携施設(7施設)により専門研修施設群を構成します。本専門研修施設群では41名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

2) 施設群の内訳

専門研修基幹施設

名称	都道府県	1:消化器外科 2:心臓血管外科 3:呼吸器外科 4:小児外科 5:乳腺外科, 6:その他(救急含む)	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
東海大学医学部附属八王子病院	東京都	1, 2, 3, 4, 5, 6	1. 向井 正哉 2. 中川 知己 金子 順一 鍋島 一仁 山本壮一郎 西 宏之 鈴木 育宏 鄭 英里

専門医連携施設

No		東京都		連携担当者氏名
1	国立病院機構 災害医療センター	東京都	1, 2, 3, 5, 6	五十嵐 雅仁
2	町田市民病院	東京都	1, 3, 4, 5, 6	保谷 芳行
3	医療法人財団中山会八王子消化器病院	東京都	1	小池 伸定
4	医療法人社団永生会南多摩病院	東京都	1, 5, 6	山本 隆嗣
5	医療法人財団興和会 右田病院	東京都	1, 6	北山 卓
6	医療法人社団おなか会おなかクリニック	東京都	1	村井 隆三
7	東海大学医学部附属病院	神奈川県	1, 2, 3, 4, 5, 6	小柳 和夫

3. 専攻医の受け入れ数について

本専門研修施設群の3年間 NCD 登録数は 7,671 例で、専門研修指導医は 41 名のため、本年度の募集専攻医数は 4 名です。

4. 外科専門研修について

1) プログラムの概要

外科専門医は初期臨床研修修了後、3 年の専門研修で育成されます。

3 年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低 6 カ月以上の研修を行います。

専門研修の 3 年間の 1 年目、2 年目、3 年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価しながら進められます。基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。なお、具体的に習得すべき専門知識や技能は研修実績管理システムならびに専攻医研修手帳による評価項目を参照ください。具体的な評価方法は後の項目で示します。多摩地域連携外科専門医研修プログラムの研修期間は 3 年間としていますが、習得が不十分な場合は習得ができる期間まで延長することができます(未修了)。

研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例(NCD に登録されていることが必須)は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。(ただし加算症例は 100 例を上限とする)

2) 年次毎の専門研修計画

専攻医の研修は、毎年 of 達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。

① 専門研修 1 年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。研修カリキュラムとして掲げられている専門技能等外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技等を習得するよう最低限の研修期間を指導医より示す場合もあります。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参

加、e-learning や書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

② 専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

③ 専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

★ 多摩地域連携外科専門医研修プログラムコース

以下に多摩地域連携外科専門医研修プログラムの具体例を示します。

専門研修 1・2年目は基幹もしくは連携施設のいずれかに所属し研修を行います。このプログラムはいずれの施設も、同じもしくは隣接する医療圏に存在します。基幹施設では、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、小児外科、救命救急科に一定期間所属し研修を行います。連携施設では、高度医療や地域医療など各施設の特徴を踏まえた研修を行います(最低6ヶ月以上の研修期間)。専門研修3年目は原則として基幹施設で研修を行い、その時点でプログラム完了に必要な症例が不足していると判断された場合には、各領域が連携して完遂するよう務めます。どのコースであっても内容と経験症例数に偏りや不公平がないように十分配慮します。カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修を開始します。

各科の研修期間の期間を参考までに示します。

① 消化器外科	5ヶ月	} 7ヶ月間で実際の経験件数に応じて 研修期間を調整
② 心臓血管外科		
③ 呼吸器外科		
④ 乳腺内分泌外科		
⑤ 小児外科		
⑥ 連携施設	12ヶ月	
⑦ 各専攻医の自由選択	12ヶ月	

例) ⑥連携施設 12ヶ月とした場合、⑦自由選択 12ヶ月を希望に合わせ調整し、途中でも研修状況により変更することも可能です。

サブスペシャリティ領域などの専門医連動コース： 基幹施設でサブスペシャリティ領域（消化器外科，心臓・血管外科，呼吸器外科，小児外科，乳腺内分泌外科）、または外科関連領域の専門研修を開始します。

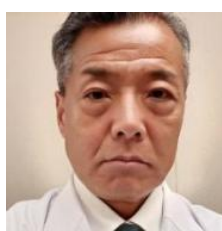
サブスペシャリティ専門領域連動コース

1 年次	2 年次	3 年次
基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 6か月間:外科専門医研修 6か月間:サブスペシャリティ 専門領域研修

サブスペシャリティ専門領域を想定しないコース

1 年次	2 年次	3 年次
基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 or 連携施設 (外科専門医研修)	基幹施設 (外科専門医研修)

★ 専門研修プログラム総括責任者からのメッセージ



消化器外科教授
向井 正哉
専門分野：
消化器外科

多摩地域連携外科専門研修プログラムは、東海大学医学部附属八王子病院と7連携施設から構成される地域密着型の研修プログラムです。高度な外科治療から日帰り治療まで幅広い分野で、豊富な臨床経験をつむことができます。ぜひ我々のプログラムに参加してください。十分な手術症例の経験を踏まえ、やりがいのある研修プランを提供したいと考えています。また、このプログラムでは、女性で外科医を目指す方が仕事と育児を両立できるよう、プログラムを調整しながら研修することが可能であり、さらに院内保育施設も完備しています。ぜひ活用下さい。

東海大学医学部附属八王子病院における各診療科からのメッセージ



消化器外科教授
金子 順一
専門分野：
消化器外科
肝胆膵外科

消化器外科

当プログラムもご覧いただき誠に有難うございます！

全国でも唯一無二の地域密着型プログラムです。消化器癌手術のみならず、内視鏡治療や薬物療法まで、さらに急性腹症をはじめ良性疾患まですべてを扱っています。他科によるサブスペシャリティのほか、救命救急科もぜひ研修していただき、急性期の対応から腹部救急疾患の手術、術後 ICU 管理まで、一人の患者の入院から退院まで対応できるよう指導してまいります。また他科との垣根が低いのが特徴であり、内科や専門領域の先生方、画像診断、病理診断科とも協力し診療できるのはこの規模ならではのと考えています。見学や相談を随時受け付けていますので、まずはこちらでご連絡下さい！



心臓血管外科教授
西 宏之
専門分野：
心臓血管外科

心臓血管外科

心臓血管外科では、虚血性心疾患、心臓弁膜症、胸部・腹部大動脈瘤、不整脈、下肢動脈、静脈疾患に至る心臓・血管疾患の幅広い診療を行っています。通常の胸骨正中切開下の開胸手術だけでなく、肋間開胸による小切開の手術やステントグラフトといったカテーテルの手術、様々な末梢血管の手術を行っており、心臓や血管といった普段扱いにくい部分への外科的アプローチが経験でき、血管吻合、剥離、止血方法を学ぶことができます。また、術後管理を通して、強心剤や抗不整脈薬、体液管理についても体験、学習でき、医師としての幅が広がる経験ができます。時間があればドライラボなどを通して外科基本手技のトレーニングも行い、有意義な循環器、外科の研修ができるどころです。皆様方と協力しつつ、少しでも多くの外科医が育つように、できましたら心臓血管外科医を志してくれる方が増えるように指導したいと考えておりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。



呼吸器外科教授
中川 知己
専門分野：
呼吸器外科

呼吸器外科 日本呼吸器外科学会新専門医制度専門研修基幹施設

東海大学八王子病院呼吸器外科の手術件数は年々増加しており、毎年平均手術件数は 300~330 件です。手術の内容は、胸腔鏡を用いた完全鏡視下による肺がん手術(肺葉切除、区域切除)や気胸手術がその大半を占めます。

さらに気管支形成や血管形成を必要とする肺がん手術や感染症、小児呼吸器外科疾患など、多岐にわたった豊富な手術の経験が出来る施設です。



小児外科
臨床准教授
鄭 英里
専門分野：
小児外科

小児外科

当院は、日本小児外科学会認定教育関連施設であり、日本小児外科学会指導医ならびに専門医各1名の2人体制で、年間入院数1000名、200-300件の手術や検査を行っています。腹腔鏡下手術を積極的に取り入れながら鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、急性虫垂炎など日常疾患を中心に行っています。和気あいあいと子育て中の女性医師でも働けるワークライフバランスにも十分配慮した八王子で唯一貫した小児外科診療を行っております。



乳腺外科教授
鈴木 育宏
専門分野：
乳腺外科

乳腺外科

乳腺外科は、多摩地域の乳がん診療の一翼を担い、2023年度、乳がん手術を307件、甲状腺がん手術を10件程度行っています。診断から手術、薬物療法、緩和ケアまでを一貫して行い、幅広い知識、素養が得られます。スタッフは4名で、うち1名ががん薬物療法専門医の資格を有していますので、外科専門医のサブスペシャリティとしてはもちろんのこと、乳がんの薬物療法に携わるプログラムにも参加可能です。

3) 研修の週間計画および年間計画

基幹施設（東海大学医学部附属八王子病院 消化器外科例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 医局会、症例カンファレンス		○					
8:00-8:30 チームカンファレンス	○		○		○		
8:00-8:30 教授回診	○						
8:30-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
13:00-16:00 午後外来	○	○	○	○	○		
18:00-19:00 内科外科放射線科カンファレンス		○					

連携施設（町田市民病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:40-8:00 ミーティング					○		
8:00-9:00 合同術前症例カンファレンス					○		
8:00-8:15 薬剤等の説明会	○						
8:15-8:30 抄読会	○						
8:00-8:30 レジデントミーティング		○	○	○			
8:30-9:00 ミーティング	○	○	○	○			
9:00- 手術、外来、回診	○	○	○	○	○		
17:00- タカンファレンス	○	○	○	○	○		

連携施設（国立病院機構災害医療センターの例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 外科病棟医勉強会&カンファレンス		○					
7:30-8:30 外科症例カンファレンス				○			
8:30-12:00 外科系病棟業務&手術対応	○	○	○	○	○	○	
13:00-17:15 外科系病棟業務&手術対応	○	○	○	○	○	○	
7:30-8:30 消化器癌カンファレンス (外科、内科、病理科、看護師、放射線科、近隣病院および開業医師)					○		
15:00-16:00 呼吸器外科集談会 カンファレンス				○			
16:00-18:00 肺がん胸部疾患カンファレンス (外科、内科、病理科、放射線科)				○			
17:00-17:30 心臓手術カンファレンス (心臓外科、麻酔科、ME、手術室スタッフ)		○			○		
17:30-18:00 心臓外科循環器科 カンファレンス	○						

基幹施設(東海大学医学部附属八王子病院)

(1) 心臓血管外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
7:45-9:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:30- 手術, カテーテル治療	○	○	○	○	○	○	
13:00-15:00 午後外来	○	○	○	○	○	○	
17:30- 循環器外科内科カンファレンス	○						

(2) 呼吸器外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 外科カンファレンス/勉強会				○			
8:00-9:00 朝回診	○	○	○	○	○	○	
8:00-9:00 教授回診					○		
7:45-16:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○		○	
9:30- 手術、	○		○	○	○		
気管支鏡検査	○		○				
13:00-16:00 午後外来					○		
17:30- 内科外科合同 勉強会/カンファレンス			○				

(3) 小児外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 朝回診	○	○	○	○	○	○	
8:30-12:00 外来診療、病棟管理、処置	○	○	○	○	○	○	
8:30-12:00 病棟管理、処置							○
9:30- 手術、		○		○			
13:00 検査、処置	○		○		○		
13:00-16:00 小児外科カンファレンス/勉強会				○			
15:00 夕回診			○				

(4) 乳腺外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 病棟回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
8:00-16:00 外来	○	○	○				
8:00-14:00 外来						○	
9:00- 手術				○	○	○	
15:00 マンモトーム生検				○	○		
17:30-18:00 抄読会, 勉強会					○		
18:00-19:00 症例カンファレンス					○		
18:00 キャンサーボード					○		

4) 研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	外科専門研修開始. 専攻医および指導医に提出用資料の配布(東海大学医学部付属八王子病院ホームページ) 日本外科学会定期学術集会 参加(発表)
5	研修修了者: 専門医認定審査申請・提出
8	研修修了者: 専門医認定審査 (筆記試験)
11	日本臨床外科学会総会 参加(発表)
2	・専攻医: 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成(年次報告)(書類は翌月に提出) ・専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成 (書類は翌月に提出) ・指導医・指導責任者: 指導実績報告用紙の作成 (書類は翌月に提出)
3	・その年度の研修終了 ・専攻医:: その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・指導医・指導責任者: 前年度の指導実績報告用紙の提出 ・研修プログラム管理委員会開催

5. 専攻医の到達目標(習得すべき知識・技能・態度など)

習得すべき専門知識や技能は研修実績管理システムならびに専攻医研修手帳による評価項目をもとに毎年の到達目標と達成度を評価しながら進められます。

専攻医研修手帳による評価項目:到達目標1(専門知識)、到達目標2(専門技能)、到達目標3(学問的姿勢)、到達目標4(倫理性、社会性など)経験目標1-3を参照してください。

6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得(専攻医研修手帳-到達目標3-参照)

- ・ 基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- ・ 放射線診断・病理合同カンファレンス: 手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比いたします。
- ・ Cancer Board: 複数の臓器に広がる進行・再発例や重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
- ・ 基幹施設と連携施設による症例検討会: 各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を毎年1~2月に大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- ・ 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- ・ トレーニング設備や教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。
- ・ 日本外科学会の学術集会(特に教育プログラム)、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで次の事柄を学びます。

標準的医療および今後期待される先進的医療

医療倫理、医療安全、院内感染対策

7. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決し得ない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画する事で解決しようとする姿勢を身につけます。学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらに得られた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。

- ① 日本外科学会定期学術集会に 1 回以上参加
- ② 指定の学術集会や学術出版物に筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて

(専攻医研修手帳－到達目標 4－ 参照)

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

- 1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること (プロフェッショナリズム)
 - ・ 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。
- 2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること
 - ・ 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとに的確な医療を目指します。
 - ・ 医療安全の重要性を理解し、事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。
- 3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること
 - ・ 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。
- 4) チーム医療の一員として行動すること
 - ・ チーム医療の必要性を理解し、チームのリーダーとして活動します。
 - ・ 的確なコンサルテーションを実践します。
 - ・ 他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。
- 5) 後輩医師に教育・指導を行うこと

- ・ 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。
- 6) 保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること
- ・ 健康保険制度を理解し、保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。
 - ・ 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
 - ・ 診断書、証明書が記載できます。

9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1) 施設群による研修

本研修プログラムでは、東海大学医学部附属八王子病院を基幹施設とし、地域の連携施設とともに病院施設群を構成してします。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。このことは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。大学だけの研修では、稀な疾患や治療困難例が中心となり common diseases の経験が不十分となります。この点、地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。このような理由から施設群内の複数の施設で研修を行うことが非常に大切です。この多摩地域連携外科専門研修プログラムのどのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、多摩地域連携外科専門研修プログラム管理委員会が決定します。

2) 地域医療の経験（専攻医研修手帳－経験目標 3- 参照）

地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。


以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

- ・ 本研修プログラムの連携施設には、この多摩地域における地域医療の拠点となっている合計 6 施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療の研修が可能です。

- ・ 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。
- ・ 消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

以下 各修練施設を紹介いたします。


基幹施設


<p>東海大学医学部附属 八王子病院</p> 	<p>住所： 東京都八王子市石川町1838 病床数： 500床 (ICU/CCU:16床 HCU:25床) 指導医数：19名 外科年間手術件数(NCD登録2024年)： 1,791例</p> <p>特徴： 東海大学医学部附属八王子病院は2002年に開設。中央道八王子IC近くに位置し、30診療科を有する地域医療を重視した大学病院です。最新鋭の画像診断装置、高精度放射線治療を有し、各診療科とも最先端の専門的診療に取り組み、全てのがん治療に対応できる体制を取っております。また、救命救急科による積極的な救急症例の受け入れにより、緊急手術症例も多く扱っています。</p>
--	--




連携施設

<p>医療法人社団おなか 会おなかクリニック</p> 	<p>住所：東京都八王子市旭町 12-12 病床数：0 床 指導医数：1 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2024 年)：343 例 特徴：おなかクリニックは、JR八王子北口駅前にある無床診療所です。苦痛の少ない胃・大腸内視鏡検査と痔の日帰り手術に専門特化したクリニックです。またターミナルケア中心の在宅医療を提供し、住み慣れた自宅で最期まで過ごすことお手伝いしている在宅医療支援診療所でもあります。2025 年には、胃内視鏡検査は 8,838 件、大腸内視鏡検査は 6,376 件行いました。痔疾患の日帰り手術は 411 件でした。</p>
<p>医療法人財団中山会 八王子消化器病院</p> 	<p>住所：東京都八王子市万町 177 番地の 3 病床数：98 床 指導医数：5 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2024 年)：583 例 特徴：消化器疾患の専門病院で、研修しませんか？ 1983 年に故中山恒明先生が開設して以来、故羽生富士夫先生から現在に至るまで消化器疾患専門病院として診療しています。外科手術症例は、年間約 550 件にのぼり大腸や胃、胆嚢、ヘルニアを含めた腹腔鏡下手術は全手術症例の薬 8 割を占め、その割合も増加傾向にあります。また、高度知識・技術を要する瘻治療にも注力しています。更に外科医も上部・下部消化管内視鏡検査を修得できることも当院の特色です。専門病院ならではの希少症例を含め、対象は多岐に亘り消化器疾患のエキスパートを目指すには最高の研修病院です。</p>
<p>医療法人財団興和会 右田病院</p> 	<p>住所：東京都八王子市暁町 1 丁目 48 番地 18 号 病床数：118 床(地域包括医療病棟 59 床×2 病棟) 指導医数：1 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2024 年)：149 例 特徴：右田病院の歴史は長く、100 年もの間、救急は医の原点として八王子市の救急医療に携わり続けて来ました。高齢化が進む環境下、二次救急を請け負う中小救急病院は従来から求められてきた役割に加えて、在宅療養支援病院、後方支援など高齢者救急の役割も負っています。まずは患者さんを受入れ、必要に応じて専門病院や中核病院へつなぐことも当院の地域医療における役割と考えております。</p>
<p>国立病院機構 災害 医療センター</p> 	<p>住所：東京都立川市緑町 3256 病床数：455 床 指導医数：14 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2024 年)：1,013 例 特徴：当院は政策医療の役割のため特異な名称ですが、通常診療において高度急性期医療を提供しています。外科は消化器外科、心臓外科、呼吸器外科、救命外科があり独立しています。それぞれの診療科は協力しあって外科医療を担っています。特に がん医療、救命科、心臓外科は東京都北多摩西部医療圏の中心的役割を担っています。専攻医は指導医が前立ちとなり、カリキュラム開始時時点から手術手技、臨床の姿勢、思考法を獲得するべく指導しています。</p>

<p>医療法人社団永生会 南多摩病院</p> 	<p>住所： 八王子市散田町 3-10-1 病床数： 170 床 指導医数： 1 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2024 年)： 338 例 特徴： 南多摩病院はJR中央線西八王子駅徒歩1分に位置する中規模の東京都指定二次救急医療機関です。急性期病院の立場から、医療法人社団永生会が目指す“街づくり、人づくり、思い出づくり”に、日々取り組んでいます。病床数は170ですが、平均1日外来患者は約550人、年間救急搬送台数は約4,400台になります。病院救急車を公的に運用する地域包括ケアのハブ病院として「地域住民に良質かつ安全な医療の提供」を通して社会に貢献することを使命と考えています。訪問診療にも注力し、高齢者にも優しい医療を心掛けています。益子邦洋病院長の強いリーダーシップの下、職員一同皆、忙しくも明るく、日々楽しく仕事をしています。</p>
--	---

<p>町田市民病院</p> 	<p>住所： 町田市旭町 2-15-41 病床数： 447 床 指導医数： 8 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2024 年)： 910 例 特徴： 町田市民病院外科は幅広い疾患を扱っているため、消化器外科医、呼吸器外科医、乳腺外科医、小児外科医を配置して専門性の高い治療を行っています。手術に際しては外科医のほかに内科医、放射線科医、病理医との合同カンファランスによって方針が確認、決定されます。より手術のダメージを軽減する目的でできるだけ内視鏡手術を導入して早期の社会復帰を目指します。最近の抗がん剤の進歩により抗がん剤と手術を組み合わせた集学的癌治療を積極的に行います。</p>
--	--

<p>東海大学医学部付属 病院</p> 	<p>住所： 神奈川県伊勢原市下糟屋 143 病床数： 804 床 指導医数： 22 名 外科年間手術件数(NCD 登録 2024 年)： 3,235 例 特徴： 神奈川県西部地域診療の中心的役割を担う東海大学医学部付属病院では、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、小児外科、移植外科、救命救急科の7診療科で専攻医教育を行っています。良性、悪性疾患どちらも幅広く対応しており、また一般病院では症例数の少ない小児外科、移植外科(特に腎移植)、そしてドクターヘリを擁する救命救急科があり、幅の広い研修を行うことが可能です。基幹施設である東海大学八王子病院と専攻医のニーズに必ずやお応えできるプログラムとなっておりますので、奮って研修にいらしてください。</p>
---	--

10. 専門研修の評価について

専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は、施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。専攻医研修マニュアル VI を参照してください。

11. 専門研修プログラム管理委員会について

基幹施設である東海大学医学部附属八王子病院には、専門研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。多摩地域外科専門研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者(委員長)、副委員長、事務局代表者、外科の5つの専門分野(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科)の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。

専攻医の研修全般の管理を行い、専門研修プログラムの作成、管理、改善などを行います。専攻医プログラム終了時に専攻医の修了判定を行い、専門研修プログラム統括責任者が修了判定を行います。

研修プログラムの改善へ向けての会議には、専門医取得直後の若手医師代表が加わります。

専攻医による指導医の評価ならびに専攻医によるプログラムの評価を研修プログラム管理委員会で審議し、プログラムの改善を図る。重大な問題に関しては、日本外科学会専門医制度委員会へその評価を委託します。また、専攻医は研修プログラム統括責任者または研修プログラム管理委員会へ報告できない事例が発生した場合は、日本外科学会専門医制度委員会へ直接申し出ることができます。

12. 専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の専門研修責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘルスに配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は、労働基準法に準じて各専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

13. 修了判定について

3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録に基づいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか判定されます。さらに症例経験数について日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうか専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

14. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

- 1) 3年間の専門研修プログラムにおける休止期間は最長 180 日です。
- 2) 妊娠・出産・育児・傷病その他の正当な理由による休止期間が3年の研修期間中 180 日を超える場合、専門研修修了時に未修了扱いとなります。原則として引き続き同一の専門研修プログラムでの研修を行い、180 日を超えた休止日数分以上の日数の研修を行います。また、相当の合理的な理由がある場合は、柔軟なプログラム制への適用(カリキュラム制への移行)が認められます。
- 3) 大学院(研究専任)または留学などによる研究専念期間が3年の研修期間中 6ヶ月を超える場合、臨床研修修了時に未修了扱いとなります。
- 4) 専門研修プログラムの移動は原則認められていません。ただし正当な理由で同一プログラムでの専門研修継続が困難となった場合で、専攻医からの申し出があり、日本外科学会専門医制度委員会の承認があれば他の外科専門研修プログラムへ移動することができます。

5) 症例経験基準、手術経験基準を満たしていない場合にも未修了となり、原則として引き続き同一の専門研修プログラムで研修を受け、不足する経験基準以上の研修を受けることが必要です。(専門研修の延長)

上記のそれぞれの対応について種々の設定がなされていますので、各場合に応じて対応が可能ですので、ご相談ください。

15. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について

研修実績および評価の記録

専攻医、専門研修指導医は、外科学会のホームページにある研修実績管理システムにより、研修期間ですべての項目の研修ができるように目標を定めます。

専門研修の運用と実際の研修に関する各種詳細については、外科学会の研修実績管理システムに登録のうえ自身の研修状況を管理します。

記録には、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当専門研修指導医など)、研修実績(経験した症例・手技・手術・処置・カンファレンス・研究など)、研修評価および人間性などの評価を含む。手術症例は NCD に登録する。

東海大学医学部附属八王子病院内専門研修プログラム管理委員会にて、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

- (1) 専攻医研修マニュアル 別紙「専攻医研修マニュアル」参照
- (2) 指導者マニュアル 別紙「指導医マニュアル」参照
- (3) 専攻医研修実績記録フォーマット

「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに登録します。

- (4) 指導医による指導とフィードバックの記録

「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録します。

16. 専攻医の採用と修了

採用方法

多摩地域外科専門研修プログラム管理委員会は、毎年7月頃から専門研修プログラムおよび採用方法についてホームページに掲載することや説明会等を行い、外科専攻医を募集します。

当プログラムへ専門研修を希望される方は、日本外科学会ホームページ上に新専門医制度による外科専門研修の専攻医登録について登録方法ならびに当該年度のスケジュールが掲載されますので、指示に従い登録を行ってください。

毎年締切日までに専門研修プログラム責任者宛に所定の形式の『多摩地域連携外科専門研修プログラム応募申請書』および履歴書等所定の書類を提出してください。申請書は、(1) 東海大学医学部附属八王子病院の website (https://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/saiyoujyouhou/recruit/clinician_tr/kouki_bosyu) よりダウンロードするか、(2) 電話で問い合わせ (042-639-1111 (内 2103))、(3) e-mail で問い合わせ: resi8@tokai.ac.jp のいずれの方法でも入手可能です。

原則として 一般社団法人日本専門医機構の発表による一次募集ならびに二次募集の期間に従って行います。2026 年度募集は、2026 年 9 月頃より開始となります。11 月中に書類選考および面接を行い、採否を決定して本人に文書で通知します。応募者および選考結果については 12 月の多摩地域連携外科専門研修プログラム管理委員会において報告します。なお、今後日程通達があり次第、随時お知らせしていきますので、卒後臨床研修募集の website(前述)の臨床助手(後期研修医)募集要項から必ず日程を確認下さい。

研修開始届け

研修を開始した専攻医は、各年度の 5 月 31 日までに以下の専攻医氏名報告書を日本外科学会事務局 (senmoni@jssoc.or.jp) および、外科研修委員会に提出します。

- (1) 専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- (2) 専攻医の履歴書(様式 15-3 号)
- (3) 専攻医の初期研修修了証

修了

外科専門研修満3年以上を経て、規定の修練をすべて修了時に研修プログラム管理委員会で専攻医の総括的評価が行われ、修了が認められると外科専門医試験の受験が可能となります。

17. 専攻医の処遇

東海大学医学部附属八王子病院の場合（2025年度実績）

- 1) 身分： 臨床助手 常勤
- 2) 給与： 専攻医1年： 月額 432,000 円 年額 5,184,000 円
固定残業代(42時間分)を含む
- 3) 諸手当： 当直手当：あり 時間外手当：月 42 時間超過分
賞与：なし その他 通勤手当
- 4) 休暇： 年次有給休暇 1 年目 11 日，結婚休暇 7 日以内，産前産後休暇，
忌引休暇，夏期休暇 1 年目 6 日
- 5) 福利厚生： 日本私立学校振興：共済事業団加入，労災保険加入，
雇用保険加入，医師賠償保険の適用：個人加入
- 6) その他： 寮有 白衣無償貸与 y 院内保育所利用可

18. 専攻医体験談



氏名：石原 尚

卒業年：2021年3月

出身大学：東海大学

サブスペシャリティ：呼吸器外科

呼吸器外科入局3年目の石原尚です。

1年目は伊勢原の東海大学医学部附属病院呼吸器外科にて、主に病棟管理および外来診療を中心に基本的臨床能力の習得に努めました。2年目には同院で消化器外科、心臓血管外科、乳腺外科、小児外科をローテーションし、外科領域全般にわたる幅広い症例を経験しました。3年目となる現在は、東海大学医学部附属八王子病院呼吸器外科にて、外来・病棟・手術を含めた診療全般に従事しています。

2025年4月から2026年3月までの期間に、肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸、膿胸など多岐にわたる症例を経験し、総症例数は258例(術者129例、助手129例)にのぼります。特に術者として120例以上を1年間で経験できたことは、手術手技の習得において非常に貴重な機会となりました。

本プログラムでは、指導医のもとで段階的に手術経験を積むことができ、基本手技の習得から応用へと無理なくステップアップできる体制が整っています。また、手術だけではなく、周術期の化学療法や術後再発に対する抗癌剤治療も呼吸器外科で行なっているため、抗癌剤治療についても造詣を深めることができました。

このように、豊富な症例数と充実した指導体制のもとで、呼吸器外科医としての基礎から応用までをバランスよく学ぶことができる点が、本プログラムの大きな魅力であると考えます。今後も外科医としてさらなる技術向上を目指し、研鑽を積んでいきたいと思いをします。

以下 経験症例

	○術者	○助手
肺葉切除	25例	29例
気胸／肺部分切除	71例	37例
区域切除	15例	36例
縦隔腫瘍	4例	8例
膿胸	2例	9例
胸膜腫瘍	2例	
経皮的手術	1例	
気管切開	1例	
その他	8例	10例
	129例	129例



氏名：浅見 愛乃

卒業年：2022年3月

出身大学：東海大学

サブスペシャリティ：小児外科

東海大学小児外科に入局し、本院で外科研修を開始した後、2年目に八王子病院で研修を行いました。

小児外科では、実力のある指導医のサポートのもと、約180例執刀させていただきました。まだ指導医ありきの手術となってしまうのが現実ですが、少しずつ自分なりに手術を組み立て、考えることができるようになってきたと感じています。また、そのように指導いただける環境を作ってくださった指導医には感謝しかありません。

八王子病院の最大の魅力は、診療科間の壁が非常に低い点にあります。小児外科は全身の臓器を対象とする特性があるため、外科プログラムに直接関係のない他診療科の手術にも参加させていただき、多角的な視点で学ぶ貴重な機会を得ることができました。実際に他科の手術に関わることで、疾患理解にとどまらず、手技や術中判断の考え方についても深く学ぶことができたと感じています。

さらに、手術や処置の経験に加え、論文執筆にも取り組む機会をいただき、臨床と研究の両面で非常に充実した1年間となりました。他診療科の先生方も多忙な中、身内のように熱く、温かく丁寧にご指導くださり、大変感謝しています。また、困った際にも気軽に相談できる雰囲気があり、安心して研修に取り組むことができました。

この研修で得た経験や学びは、今後の医師人生において大きな財産になると感じています。これから研修先を検討される先生方にとっても、幅広い経験と成長の機会が得られる非常に魅力的な環境であり、自信をもってお勧めできる研修先です。一緒に頑張りましょう！

以下経験症例

小児外科症例	術者	助手	消化器外科症例	術者	助手
停留精巣固定術(腹腔内以外)	59例	12例	鼠径ヘルニア(直視下)	4例	2例
鼠径ヘルニア(腹腔鏡下)	19	19	(腹腔鏡下)	1	1
(直視下)	22	6	肝嚢胞切除術(腹腔鏡下)	1	
臍ヘルニア	13	4	人工門造設術(腹腔鏡下)	1	
舌下帯形成術	23	5	虫垂切除術(腹腔鏡下)	1	
虫垂手術(環状切除術)	11	1	食道切除術(胸腔鏡下)		5
交通性陰嚢水腫手術	3	2	全麻下下咽頭内視鏡切除術		2
先天性耳瘻管摘出術	3		幽門側胃切除術		3
精巣摘出術	2	1	胃全摘術		1
その他	12	3	胃部分切除術		2
			腹壁癒痕ヘルニア		1
			Lapc		5
			肝切除		1
			臍頭十二指腸切除術		1
			その他		2
計	184例	64例		8例	26例

問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院外科専門研修プログラム管理委員会

電話:042-639-1111 (内 2103) 田志口

メール: resi8@tokai.ac.jp

syamada@tokai.ac.jp

ホームページ:

http://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/saiyoujyuhou/recruit/clinician_tr/kouki_bosyu/

見学、個別相談など随時受け付けています。

2016年1月30日作成 第1版

2017年5月31日作成 第2版

2017年10月10日作成 第3版

2018年5月11日作成 第4版

2019年3月5日作成 第5版

2020年4月29日作成 第6版

2021年4月30日作成 第7版

2023年8月30日作成 第8版

2024年5月10日作成 第9版

2025年5月10日作成 第10版

2026年5月10日作成 第11版

多摩地域外科専門研修プログラム管理委員会編